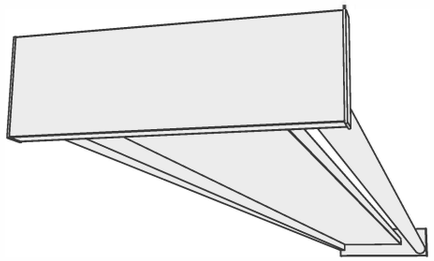
多目的シェルフ　取付説明書

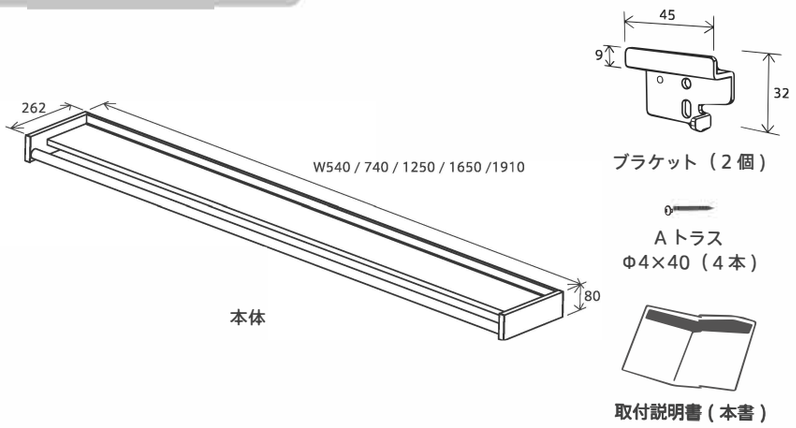


⚠注意

- ブラケットの取付は、必ず木下地に行ってください。
- 本製品は、室内専用です。室外には取付しないでください。
- 本体をブラケットにしっかりとはめ込んでください。
- 本体を正しくはめ込むと、わずかに上向きに傾くように設計されていますが、使用上問題はございません。（およそ1° 傾くよう設計されています。）
- 本製品の分解・修理・改造は行わないでください。
- 高い位置に取り付ける際は、頭をぶつけないように注意してください。

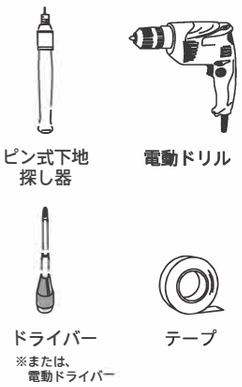
パッケージ内容

※寸法表記は全て mm(ミリメートル)



必要な工具

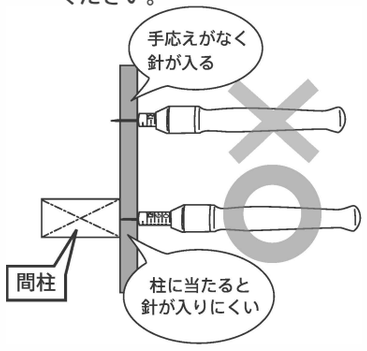
※別途お客様でご用意頂く工具類



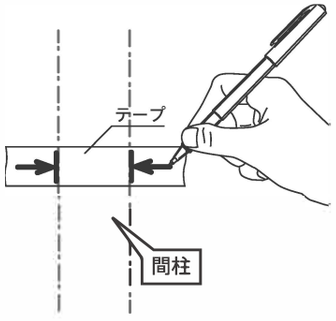
1. 木下地 (間柱まばしら) を探す

①壁を軽くたたき、音で間柱の位置を確認します。

②次に市販のピン式下地探し器などで正確な位置を確認してください。



③テープに正確な間柱の位置を書いてください。

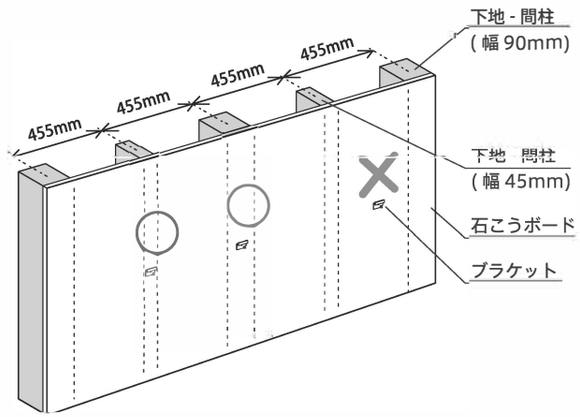


※壁の構造がわからない場合は、工務店や専門業者にご相談ください。
※コンパネ 12mm の場合強度不足になります。必ず、柱か間柱に固定してください。

2. 取付位置と穴あけ位置

※寸法表記は全て mm(ミリメートル)

①取付穴を確認してください。

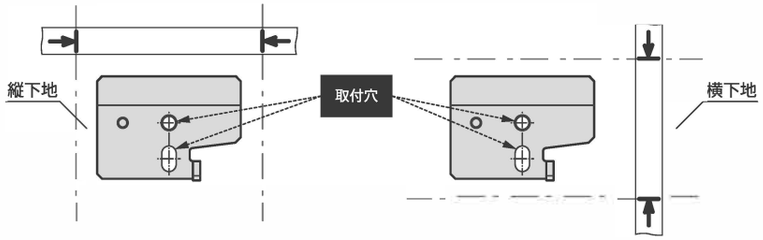


⚠注意　下地の間隔について

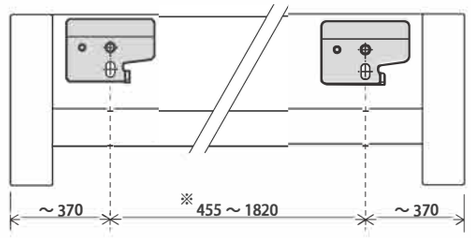
左のイラストは一般的な壁面の構造になっています。

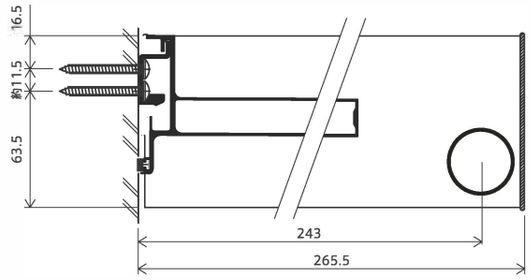
下地の間隔は建築方法や現場により異なりますので、必ず下地探しで下地の位置をご確認ください。

○一般的な下地間隔
一般木軸工法：455mm
２×４工法　：500mm



②下の図を参考に穴を開ける印を入れてください。





※一般的な下地の入った壁面の場合、
ブラケットの間隔は以下の通りになります。

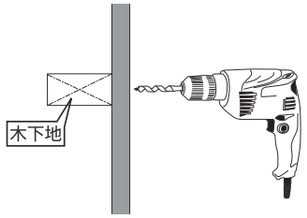
本体 W	ブラケットの間隔
1910	1365 / 1820
1650	910 / 1365
1250	910
740	455
540	455

⚠注意　下地の間隔は建築方法や現場により異なりますので、必ず下地探しで下地の位置をご確認ください。

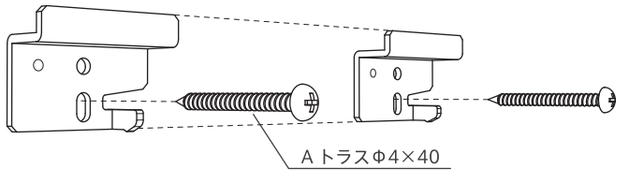
森田アルミ工業株式会社 | 599-0201 大阪府阪南市尾崎町530-1 | TEL 072-480-1400 FAX 072-480-1414 | https://www.moritaalumi.co.jp/

3. 壁面の穴あけとブラケットの取付け

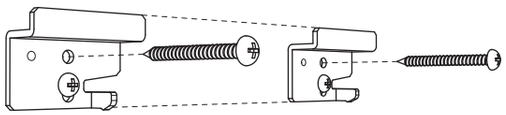
①木工用ドリルの刃 (Φ3mm) で、
深さ 40mmの穴をあけてください。



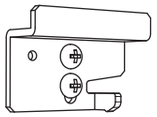
②ブラケットの高さが合っていることを確認し、下の長穴に
A トラスΦ4×40 を軽く締め込み、ブラケットを仮止めしてください。



③ブラケットの高さと水平を調整し、上の穴に A トラスΦ4×40
を締め込んでください。

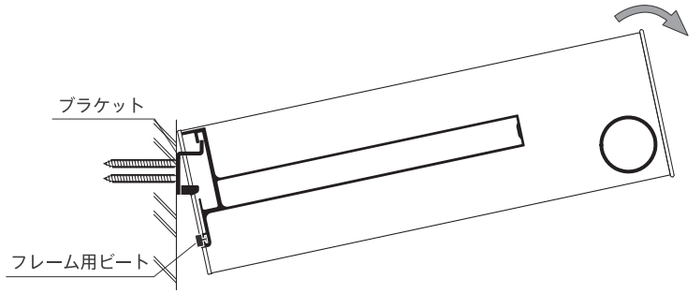


④高さが合っていることを確認し、
下部のネジを締め込んでください。

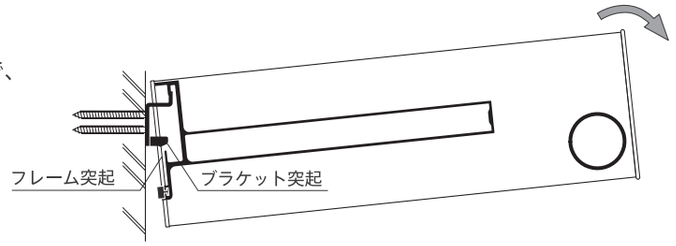


4. 本体の取付け

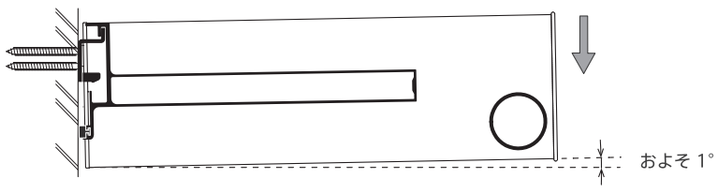
① ブラケットに対して本体を
斜めに引っかける。



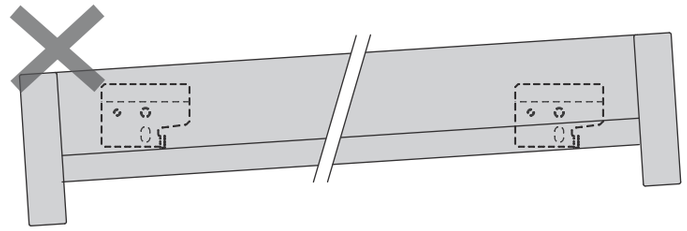
② 斜めに引っかけた状態で、
フレームの突起がブラケットの
突起に干渉しない位置になるまで、
斜めのまま下に下ろす。



③ 本体がおよそ 1° になるまで下げ、
がたつきがないことを確認する。

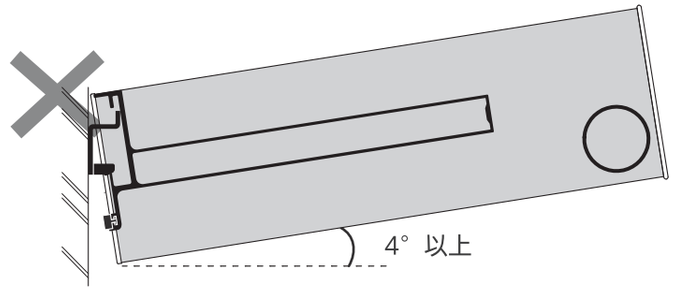


⚠注意　本体がブラケットにきっちりとはまっているかどうかを確認



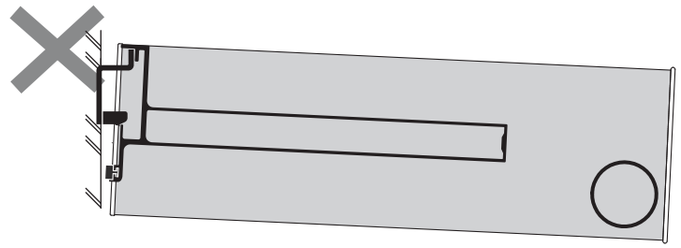
本体が斜めになっている。

→片側のブラケットにきちんと
はまっていない可能性があります。
水平になるまで下げてください。



本体が 4° 以上傾いている。

→フレームがブラケットに干渉して、
最後まではまっていません。
もう一度、斜めに向けながら
下げてください。

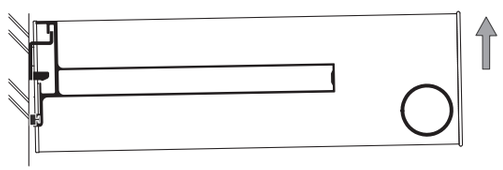
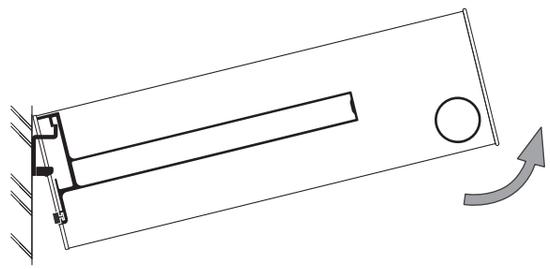


本体が下向きに傾いている。

→本体がブラケットに引っ掛かって
いません。再度、本体を取外して
ブラケットに引っ掛けてください。

5. 本体の取り外し

①本体を垂直方向に少し持ち上げる



②本体を斜めにし、ブラケットから外す。